

サザンノジムカ

サザンノジムカ2023 規則書

(2023.9.14改訂版)

主催	サザンサーキット
代表	高杉 俊太郎
技術	兵藤 忠彦 ・ 立川 雅一
撮影担当	佐藤 圭
音響・実況	沼田 晋 ・ ワッキー貝山

1. 開催形式

- 4ヒート制ジムカーナ風タイムアタック
- 4ヒート合計タイムで順位を決定
- タイムが残らないヒートがあった場合、有効ヒートの合計順

2. タイム計測方法

車両へ装着するトランスポンダーでの計測(MyLaps)

3. ドライバーの参加資格

- 参加する車両を運転可能な技術(運転免許証の有無は問わない)
- 18歳未満の参加者は、保護者を帯同し、コース外の運転は認めない
 - 申し込みの際に保護者の同意と、受付時の保護者による確認が必要
(※当日受付時に保護者の方がいれば大丈夫です)
 - スタート前とゴール後に設定した、乗り換えポイントの間のみ運転可
- 飲酒や薬物使用による運転への支障が無いこと
- スタートからゴールまでは規則に定められた安全装備を着用
- 公益財団法人スポーツ安全協会「スポーツ安全保険」への加入を推奨

4. 参加申込書に記載された個人情報の利用について

- 「個人情報」の定義
 - 参加者の本名、住所、電話番号、生年月日、年齢、血液型、性別、メールアドレス
 - 保護者の本名、住所、電話番号
 - 緊急連絡先の本名、住所、電話番号
- 個人情報の利用目的
 - 救急処置など、医療関係に必要な情報提供
 - 参加者が自力連絡できない場合の、緊急連絡先への連絡
 - 主催者からの連絡
 - 次回以降のイベントの案内
 - 上記以外にはこれを用いない

5. 参加受付期間(2023.8.11改訂・現金書留も5日前必着)

開催日の1ヶ月前から5日前まで必着。

6. 申込方法

- 受付期間内に設置されるWEBフォーム
- 郵送(現金書留)
- E-MAILまたはFAXで申込書を送信
- サザンサーキットのコントロールタワーで直接

7. 支払い方法(2023.8.11改訂・クレジット決済など廃止)

- 銀行振込
- PayPay(QRコードまたはサザンサーキット現地カウンター)
- 現金(サザンサーキット現地カウンターのみ)

8. ダブルエントリー

申込は1人1通として1台複数エントリーでも各自提出(支払いは一括でも可)

9. エントリー費(2023.9.14改訂)

- 税込・入場料1台分込み、食事代別
- ナイター戦(第1戦・第2戦):15,000円(第1戦・終了):15,000円
- ナイター戦(第2戦):サザン会員:13,000円 / 非会員:15,000円
- 通常開催(第3戦):13,000円後日発表
- 当日支払いは認めないエントリー費の当日支払いは認めない
- フリー走行(参加者のみ)(非参加者のみ):1周500円計測なし

- フリー走行(非参加者のみ):サザン会員4,000円 / 非会員5,000円
- フリー走行の計測器代:1,000円(公式HP「カレンダー」から事前走行予約で無料)
- 受理後は原則として返金しない
- 天災で会場使用不可など、主催者都合により開催中止の場合は返金する
- 特に申し出無く受付期間内の支払いまたは決済が無かった場合、申込キャンセルとみなしてエントリーを取り消す

10. ギャラリー入場料(2023.9.14改訂)

- 1台1人500円(駐車場はパドックとは別で、入口から直進した上部区画)

11. 申込先

サザンサーキット

〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生長谷小屋5-1

TEL:0224-83-5632

FAX:0224-83-3560

E-MAIL:event@southerncircuit.info

URL:<http://southerncircuit.info/>

12. 当日の参加確認

受付時間開始後、コントロールタワー前またはタワー内の受付で本名かエントリーナーを申告、ゼッケンその他を受け取る。

13. クラス分け

LN	自然吸気エンジンでMTの軽自動車
LNA	同・MT以外の軽自動車
LT	過給機つきエンジンで走るMTの軽自動車
LTA	過給機つきエンジン、またはモーターのみで走るMT以外の軽自動車
GA	軽自動車登録以外の、道路交通法上における4輪の「普通自動車」。 要するにミニカー登録や小型特殊、バスやトラックを含まない4輪の小型車や普通車。
その他	いずれのクラスにも当てはまらないクルマ。 ミニカー登録でも2輪でも3輪でも動力なしでも、規則の基準タイム内で走れれば何でも可! ただし2輪や3輪で人体が露出するような場合、規則の服装規定に従うこと。

14. 車両安全規則

- 改造やナンバーの有無は、コース走行時の安全に支障が無いと判断されれば、自己責任で全て自由。
- コース走行時の安全に支障がある例
 - 夜間に前照灯を点灯していない。
 - ロールケージに緩衝材が巻かれていない。
 - 雨天時にワイパーを装着していない。
 - 車体の一部が常に路面に接触している。
 - 視界が確保されていない(夜間のスモークガラス含む)。
 - 運転手または同乗者の、車体に固定された座席が無い。
 - エンジンオイルなど油脂類が漏れている。
- 同乗は助手席ヘナビまたは主催者の実況担当1名までに限り認める。
- 2輪車の後席やオート3輪の補助席への同乗は不可。
- 走行時は、乗車している側のドアと窓を閉めること。
- 故障で窓が閉まらない車両は、窓をテーピングや網で代用し、走行中にドライバーの体の一部が外に出ない対策を取ったと認められれば出走可。
- 車両に仮装や電飾、空力パーツ追加を行う場合は、走行中に脱落しないこと
- 安全性に問題があると主催者が判断した車両は、イベント中でも主催者より改善を指示される事があり、従えない場合は失格となる。

15. オープンカー特別安全規則(2023.8.11改訂)

- ソフトトップ車は6点式ロールケージ、またはフロント4点式ロールケージ4点式以上のロールバーを装着しなければ、脱着式ハードトップを装着しても走行を認めない。
- 開閉式ハードトップ車(ケーペカブリオレ)、開閉式タルガトップ車(リトラクタブルハードトップ)はソフトトップ車と同様のロールバーを装着しない場合、トップを閉めた状態でしか走行を認めない。
- 緩衝材を巻かないロールバーは認めない。
- ファッションバーなど形状のみで頭部保護機能を持たないものは認めない。

16. 特殊車両安全規則

- フォーミュラ(ジムカーナD車両やFJなど)はドライバーの安全装備のみで出走できるが、ドライバー背面の転倒時保護装備を外してはいけない。
- カートや、ロールバーで保護されていないバギー車、ATVは2輪と同じ扱いとし、プロテクターなどカート用のドライバー安全装備を必須とする。

17. ドライバー(ライダー)安全規則

- 全てのドライバーおよび同乗者は、以下を着用しなければ出走を認めない。
 - ヘルメット(以下に限る・半ヘル不可・アゴひも装着必須)
 - ジェット
 - フルフェイス
 - システム
 - オフロード
 - 指が出ないドライビンググローブ(軍手や手袋不可)
 - 運転に支障の無い長袖長ズボン、またはそれに準じた服装
 - 運転に支障の無い靴(サンダルや足袋、厚底靴、長靴やブーツ不可)
- 動力付き二輪車(いわゆるサイドカーも含む)やドライバーが完全に露出しているカート、バギーなどについては、防護用プロテクターやモータースポーツ用ライダースーツなど、乗員の安全装備が必須。
- 自転車など無動力車はプロテクターや作業用ツナギの装着を推奨。
- アクセサリーや仮装は、運転や緊急時の脱出に支障があるものは認めない。
- ドライバー(ライダー)の装備が安全規則に沿わないと判断された場合、車両が規則に適合していても出走は認められない。

18. 走行規則

- パイロンタッチ
スラローム区間は2本以上連續タッチで1本あたり5秒、最低10秒加算。
- ミスコース
 - 以下の場合はミスコース判定とし、そのヒートのタイムは残らない。
 - コースを設定通りに走らない
 - 4輪脱輪後に脱輪地点に戻らずショートカット
 - パイロンを左右逆に通過
- リタイヤ
何らかの事情で走行不能となった場合は、スタッフにハザードや手を振り、リタイヤの意思を伝える。
- リタイヤ後再出走
機械的なトラブルやクラッシュによるリタイヤは、修理後に走行可能と認められれば再出走が認められる場合もある(ドライバーの走行継続意思が無くなつたなど、機械的な理由が無いリタイヤは再出走が認められない)。
- 再出走
前走車がリタイヤしたなど、スタッフが赤旗などを振って走行を制止された場合や、計測ミスの場合、無条件で再出走が認められる。

- 失格
 - 指定されたコース通りに走る意思が認められない場合はリタイヤ扱いで、以後の出走も禁止して失格とする。
 - スタートから5分経過後もゴールの見込みが無いと認められた場合は、失格となる場合がある。
- 旗の種類
 - 日章旗:スタートの合図
 - 黄色:パイロンタッチ
 - 緑:パイロンタッチや安全上の問題無し
 - 赤:ただちに走行を停止し、係員の指示に従え
 - 黒:ミスコース(停止してはいけない)
 - チェッカー:ゴール後の指示誘導
- 車両および運転手の変更について
 - 車両の変更は、受付時までになるべく早く申告する。
 - 車両変更と同時に、別クラスへの変更も認められる。
 - 車両トラブル発生時に限り、同クラスであればイベント中に車両の変更を申告する事ができる
 - ドライバーの変更を行う場合、受付時に変更後のドライバーの申込書を持参し申告する事で可能
 - 当日朝の受付後は、ドライバーの変更は認められない
- 走行前検査(車検)
 - パドックでの車両および運転者の検査は原則行われないが、スタッフが異常または危険を見つけた際は、確認の対象となる。
 - 走行前にコース入口やスタート地点で安全上の問題が無いか確認され、必要があればパドックに戻って修正を指示される場合がある
- 抗議
 - 走行結果(タイム)や他の参加者への抗議は、コントロールタワーへ申し出る。
 - 参加者間の紛争に関しては、主催者はこれを閲知しない
- 警告

イベント開催中、コース内外に関わらず危険行為や安全性の問題が発見された場合は、スタッフに警告される。

- 罰則
 - 運営に悪影響を及ぼすと主催者に判断される重大な違反
 - 即時退場
 - 以後の参加お断り
 - 安全性の問題を改善しなかったり、コース外を含む会場内で意図の有無に関わらず危険行為をした場合
 - 厳重注意とともに、タイムに5秒加算される
 - 繰り返した場合は即時失格、フリー走行も出走不可
 - 悪質な場合は、以後の参加を断る場合がある
- 罰則の適用
 - 罰則の判断は最終的に主催者が行う
 - 主催者の代表またはスタッフの報告が判断基準となるが、参加者やギャラリーから抗議を受けて審査する場合、提出された証拠やスタッフの聞き取りから判断する
 - 罰則は参加者以外にも適用される場合がある
 - 罰則適用後の、当事者からの抗議は受け付けない
- 危険行為
 - パドック内で徐行せず、速度を上げて走行する
 - エンジンをかけたままのジャッキアップ(特にタイヤの回転)
 - ドライバーが必要な安全装備を装着せずに走行しようとする
 - 設定されたコースに従わない走行(逆走も含む)
 - パイロンを「故意に」跳ね飛ばす
 - 車両安全規則を満たさない車両で走ろうとする
 - コースに物を投げ入れる
 - ガソリン携行缶など、危険物の近くで火気を用いる
 - パドック内の車両通行スペース上に物を放置する
 - スタート時やゴール後に、スタッフの指示や誘導に従わない
 - クラッシュによる破損や車両トラブルで走行継続が困難なのに、無理やり走行を継続する事。
 - 日没後にライトを消灯してのパドック内の移動、及びコース内走行。
 - 会場内で、幼児を一人で放置する
 - その他、スタッフが危険と判断したもの全て

19. 損害の補填

- 参加車両とその付属品を破損、紛失、盗難等、ならびに他の参加者や来場者の器物や車を破損した場合、理由の如何を問わず各自が自分で責任を負う。
- 会場の施設や道路の破損に対しては損害を補償する。
- 参加者と同行者は、主催者が一切の損害補償の責任を免除されている事を了承し、出走による参加者および関係者の死亡、負傷、車両損害等に対しては、主催者が一切の損害補償責任を負わないものとする。

20. イベントの成立

第1ヒートが全車終了した時点で成立とする

21. イベントの延期、中止、短縮

- 天災など不可抗力による特別な事情がある時は、主催者がそのイベントの延期、中止またはコースや走行回数の変更、フリー走行の中止を決定できる。
- 延期の場合は参加料は延期後の開催日まで主催者が保管するが、参加者が延期されたイベントへ参加しない場合、原則として参加費は返還しない。

22. タイムスケジュールや食事などについて

- バーベキューなど火気の使用は、可燃性物質の至近で行わないよう十分に注意する。
- 参加者への昼食(ナイター時は夕食)無料提供はない。
- その他、各戦のタイムスケジュールや食事については開催概要を参照。

23. 規則書の解釈

この規則書の解釈について疑問がある場合は、主催者の回答を最終的な解釈とし、主催者は速やかに公表する。